

# 導入事例 4

## クラスメソッド株式会社

## ITシステムインテグレーター

- 所在地 ● 札幌オフィス／札幌市中央区北3条西1丁目1-1 札幌ブリックキューブ 9階  
代表者 ● 代表取締役 横田 聡  
従業員数 ● 130人(札幌オフィス17人)  
資本金 ● 1億円  
事業内容 ● クラウド(AWS)に関するコンサルティング、設計、構築、運用。ビッグデータ分析基盤に関するコンサルティング、設計、構築、運用。モバイルアプリケーションに関する企画、デザイン、開発、運営。マーケティング・システム構築のためのサービス「カスタマーストーリー」の企画、開発、運用  
URL ● <https://classmethod.jp/>



テレワーカー 札幌オフィスエリアマネージャー  
佐々木 大輔さん

### どこで働いてもいい、自由さが魅力

クラスメソッド株式会社で札幌オフィスの統括を担う佐々木大輔さんは、場所を選ばず働ける自社の環境について、「社員誰もが退職は考えない」と言うほどの自由さがあると自信を見せます。仕事の大半はネット環境さえあれば可能なため、エンジニア、オペレーターだけでなく、管理部門を含む全ての社員が「リモートワーク」(「リモート」は「遠隔」の意)という呼称でテレワークをしています。オフィスを見渡すと、出社している社員は半数くらいです。

佐々木さんは仕事の内容や繁忙具合によって出社か在宅かを選んでいきます。自宅では自分のパソコンからオフィスのサー

バーにアクセスし、オフィスと同じ環境で仕事をすることができます。離れた場所にいる社員同士でテレビ会議をすることも多く、支給されたマイク付きヘッドホンを使います。また、自宅に限らずどこで働くのも社員の自由で、バリ島のビーチを眺めながら仕事をしたこともあるそうです。

リモートワークのメリットとしては、通勤時間を省けることを挙げます。忙しい時は在宅にして通勤時間を仕事にあてます。特に冬は出勤に伴う時間と負担が増えるため、自宅にいながらオフィスと同じ環境で働けることに大きな魅力を感じています。



管理部 部長  
魚見 賢太郎さん

### 全国に散らばる社員、事業継続と就労継続が目的

クラウドやビッグデータ分析基盤等に関するコンサルティングや設計、構築、運用を手掛けるクラスメソッド株式会社。リモートワークを導入したきっかけは「社員2名がほぼ同時に介護のために地元に戻らなければならなくなり、働き続けてもらうためでした」と管理部部長の魚見賢太郎さんは話します。

また、ほぼ同じ頃、東日本大震災が発生し、BCP(※1)の観点からも導入の必要を感じたと言います。平成24年度東京ワークライフバランス認定企業(東京都)にも選ばれるなど、働きやすい職場環境は度々評価されています。現在も、介護や配偶者の転勤などを理由に、社員が東京、札幌、長野、名古屋、山口と全国各地でリモートワークをしています。離職者はここ数年

の間、ゼロでリモートワークは社員採用の際のPRポイントにもなっていると話します。

リモートワーク導入にあたっては、社員のPCからオフィスのサーバーに、暗号化された方法でセキュア(※2)にログインしお客様情報にアクセスできるシステムを整えました。また、ビデオチャットを使ってテレビ会議を頻繁に行い、社内のコミュニケーションをはかっています。顔や声をよく知っている社員同士が「実物の相手に会うのは初めて」ということは社内によくあること、と魚見さんは笑顔を見せます。

※1. BCP：事業継続計画。企業が自然災害、事故、テロ等の緊急事態に遭遇した際、業務に対する被害を最小限にとどめ、事業活動の継続、早期復旧を行うために事前に策定する行動計画のこと ※2. セキュア：安全で危険がない情報セキュリティのこと